

モンタナ幼稚園関係年表

1915 (大正 4)	聖母訪問会の誕生
1921 (大正 10)	日本での活動をはじめ
1926 (大正 15)	材木座辻の借家にサナトリウム開設 (翌年 1 月に大町に移る)
1929 (昭和 4)	「聖テレジア七里が浜療養所」開所 (現・聖テレジア病院)
1930 (昭和 5)	横浜若葉町に「聖ミカエル天使園」開園 「鎌倉聖母園」(大町) にシスター派遣
1942 (昭和 17)	「モンタナ修道院」設置
1944 (昭和 19)	「腰越戦時保育園」開園
1946 (昭和 21)	「聖母園」に改称
1954 (昭和 29)	創立者ブルトン神父 (パリ外国宣教会) 死去
1955 (昭和 30)	「モンタナ幼稚園」園舎新築
1957 (昭和 32)	「学校法人モンタナ学園」設立 (モンタナ幼稚園創立記念日)
1976 (昭和 51)	モンテッソーリ教育導入
1988 (昭和 63)	通園バスの運行開始
1992 (平成 4)	新園舎建設 (現在の園舎)

※『マリアとともに急ぎ山地を』より、今回の展示に関連する内容を抜粋

モンタナ幼稚園の設立

モンタナ幼稚園の前身は、1944（昭和 19）年に設置された「腰越戦時保育園」である。聖母訪問会（当時は日本訪問童貞会）が横浜若葉町（現在の横浜市中区）に開いた「聖ミカエル天使園」（1930 年開園）の子どもたちの疎開を受け入れるとともに、地元の子どもたちを集めての保育がおこなわれた。

聖母訪問会は誕生初期から、幼児教育や保育活動に携わった。日本では 1921 年東京府荏原郡大井出石（現在の大田区）に「訪問園」（のち大森英和幼稚園）を設立したのが始まりである。また大町の「鎌倉聖母園」（1930 年開園、戦時中に閉園）にもシスターを派遣していた。

戦後も保育を継続し、1946 年には「聖母園」と改称した。近隣に幼稚園がなかった時代、入園希望者は多く、モンタナ修道院が近隣の地主から購入した土地をあて、シスターたちが田畑を整地して、木造の幼稚園舎を造ったという。



「聖母園」第 1 回終了記念写真（1947 年 3 月 18 日）

モンタナ幼稚園のあゆみ

1955 (昭和 30) 年には、園舎が完成した。「モンタナ幼稚園」という名前になったのはこの時期である。さらに 1957 (昭和 32) 年には、「学校法人モンタナ学園」が設立され、宗教法人から移行した。モンタ



1955年に落成した園舎

ナ幼稚園では、この時を園の設立記念日としている。

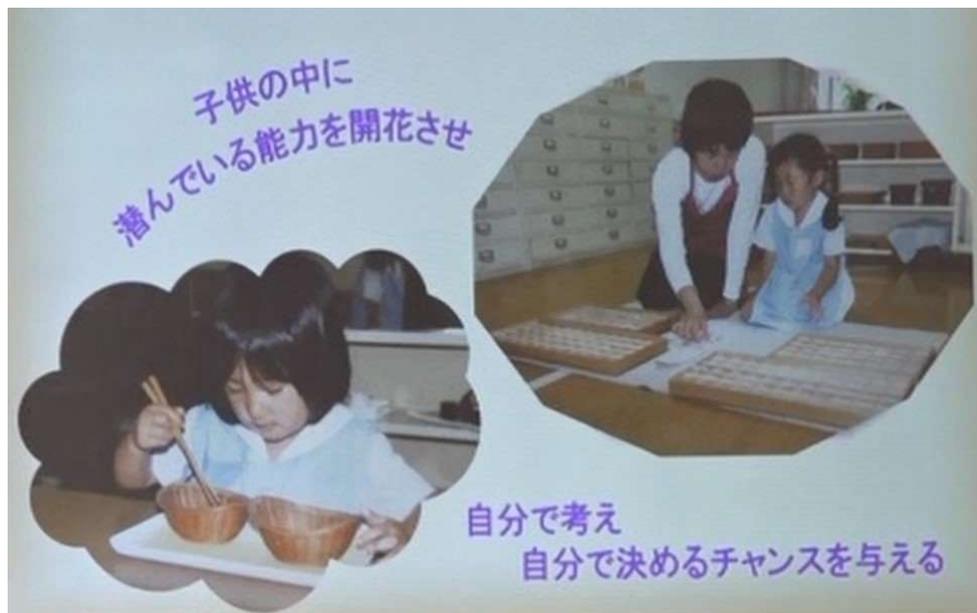
設立当初、園の職員は聖母訪問会のシスターまたは修道生活志願者に限られていた。入会してから幼稚園教諭や看護師の資格を



とるシスターも多かった。しだいに一般の職員も受け入れ始めたが、2019年までは、幼児教育に長年関わり、知識を持つシスターが園長を務めていた。

モンタナ幼稚園
は、モンテッソー
リ教育を早くから
導入した園として
も知られる。

子どもの「敏感
期」に適切な環境



を用意し自己教育力を育むというモンテッソーリ教育を始めたのは 1976 年、その頃にはシスターたちが本場イタリアに行って勉強したという。本格的に導入するのは大変なことで、教具をそろえなければならず、また 2 年間ほど勉強して国際免状を取る必要もあった。園では免状を取るためのお金を出して、先生たちを学校に通わせていた。

近所の子どもたちがほとんどだったころは、シスターたちが子どもを連れて腰越や西鎌倉へと送っていったが、しだいに、モンテッソーリ教育を望んで子どもを入園させる親も増えたこともあって、遠くから通う子どもも多くなってきた。そこで 1988 年には、修道院の畑をバス駐車場にして、通園バスの運行が始まった。

※モンタナ修道院のシスターにお話をお聞きし、モンタナ幼稚園創立 60 周年記念の DVD を提供していただきました。感謝いたします。